

# 江府町新庁舎建設工事 実施計画

平成31年3月

総務課

## ■基本方針

現在の役場本庁舎は、築後62年以上経過し、耐震化も未実施である。機能、維持管理面からほぼ使用限界に達している。

新庁舎建設は、将来の人口推移（高齢者、少子化）に対処するために、施設の合理化、行政サービスの向上、経費・維持管理費の低減を目指す。

また、防災拠点としての機能、親切で丁寧な行政サービスと町民とのコミュニケーションを醸成する機能を有するものとする。

将来の人口推移等を勘案し、業務量等を踏まえて、適正な規模の新庁舎建設を行う。

部署名	現在の庁舎	移転後の庁舎
総務課、出納室、住民課、議会事務局	役場本庁舎	} 新庁舎
日野町江府町日南町衛生施設組合事務局		
建設課、農林産業課、農業委員会事務局	山村開発センター	
教育委員会事務局(教育課)	防災・情報センター	
福祉保健課、江尾診療所	総合健康福祉センター	総合健康福祉センター

## 【設計のコンセプト】

### ①誰もが利用しやすい庁舎

#### (ア)窓口機能

- ・福祉保健課を除く、行政機能を新庁舎に集約し、窓口機能を1階フロアに集約。
- ・住民の利便性の向上と、効率的な行政運営が図れる機能を有する。

#### (イ)多くの住民への対応可能なスペース

- ・集会所機能を持つ庁舎とし、一階ロビーは、来庁者だけでなく、十分な待合スペースを確保する。また、キッズコーナーや授乳室などを設置し、全ての世代が使いやすいものとする。
- ・2階には、大山等が眺望できる「憩いの広場（仮称）」を設け、住民が利用しやすいスペースを確保。隣接する多目的室と併せて、住民が気軽に活用できる開放されたスペースとする。
- ・2階の多目的室（仮称）は、3区画に分割し、それぞれ使用できる構造とする。

#### (ウ)情報受発信機能

- ・防災無線室を1階に配置し、宿日直を含め、緊急時の情報伝達等が円滑にできるものとする。
- ・執務室をOAフロア化し、wifi等の整備など、新庁舎が情報受発信の中核機能を持つものとする。
- ・町民への各種連絡・案内情報、来庁者や観光客等への情報が受発信できるブースを設ける。

#### (エ)高齢者等に配慮する機能

- ・高齢者及び障がい者のみならず、町民及び来庁者等全ての方が使いやすく、全てのフロアがバリアフリー対応であり、車いすでの移動ができるものとする。
- ・多目的トイレの設置（オストメイト対応）。

## ■基本方針

### ② 防災拠点として役割を果たす庁舎

#### (ア)防災拠点機能

- ・防災会議室の設置、また、災害時の避難所として防災拠点としての機能をもった庁舎とする。
- ・防災拠点としてふさわしい安全性能を備えるとともに、災害対策本部を中心とした災害時に迅速かつ継続的に住民を守る拠点となる庁舎とする。
- ・浸水対策等として、フロア高は敷地から約50cmとする。屋外の受水槽・非常用発電機・受変電設備等も60cmほど高上げし設置する。
- ・防災会議室は、平時は多様な使い方ができる会議室とする。

#### (イ)災害時等に対応する機能

- ・72時間対応の非常用電源設備の設置。非常用電源系統を分ける。
- ・受水槽は地上式とし、断水時に3日間程度の必要量を確保できる設備を設ける。
- ・外構にマンホールトイレを設置可能とする。
- ・一時避難者の受け入れスペース（多目的室兼議場）を確保。（多目的室60名程度。）
- ・防災拠点として、庁舎の構造強化（耐震安全性Ⅱ類）をする。
- ・大規模災害時に災害対策本部が直ちに設置できるよう防災会議室を設ける。

### ③ 機能性・効率性を重視した庁舎

#### (ア)執務機能

- ・将来予想される人口減に伴う役場組織の再編・施設の合理化に対処するため、構造的な仕切りをできるだけ廃し、執務室の規模・用途変更が容易なものとする。
- ・執務室のOAフロア化。

#### (イ)議会機能

- ・専用の議場は設けず、議場兼用の多目的室（仮称）を設置する。（委員会室としても利用可能なものとする。）
- ・住民に開かれた議会として、傍聴等がしやすいものとする。

#### (ウ)維持管理機能

- ・冷暖房設備は、執務室等でエリア毎の調整が可能なものとする。
- ・維持管理の経費の節減のため、メンテナンスが容易な構造・機械設備とする。
- ・太陽光発電設備、地中熱空調設備など自然エネルギーの活用については、維持管理コスト（将来の更新）、費用対効果を勘案し、設置を見送る。

#### (エ)分庁舎を解消する

- ・福祉保健課を除く全ての課を新庁舎に配置し分庁舎を解消。窓口を一箇所に集め、住民の利便性を高め、職員の情報の共有化を図る。

### ④ 環境に配慮した庁舎

#### (ア)省エネを考慮した機能

- ・LED照明の導入。トイレ等センサー制御。自然光の導入。
- ・執務室等は、自然換気ができるよう網戸を設置する。また、執務室の高さを約3mに抑制し空調の効果が持続可能なものとする。（2階の多目的室の高さは約3.5m）
- ・空調は、エリア毎に部分調整が可能なものとする。

### ⑤ その他

○外観の屋根については、奥大山の山々の稜線と同じように、少しアールを付け、山並みをイメージ。奥大山の荒々しさを表現。2階多目的室、憩の広場は、ガラス張りとして、奥大山の山が眺望できるものとする。

○地元集落及びサントリー奥大山ブナの森工場の協力によって、地元産木材（ミズナラ）を一部利用。

## ■計画概要

### 1 敷地概要

- (1)建設地 鳥取県日野郡江府町大字江尾1717番
- (2)敷地面積 12,878 m<sup>2</sup>  
※国道181号線改良工事による減は含まず。給食センター含む。

### 2 法的規則

- (1)区域指定 設定なし
- (2)用途地域 設定なし
- (3)高度地区 設定なし
- (4)日影規制 規制なし
- (5)防火指定 指定なし

### 2 新庁舎建物概要

- (1)主要用途 庁舎、集会所
- (2)構造種別 庁舎棟：鉄筋コンクリート造 車庫棟：鉄骨造
- (3)建築面積 庁舎棟：1819.25 m<sup>2</sup> 車庫棟：199.2 m<sup>2</sup>  
自転車置き場：14.56 m<sup>2</sup>
- (4)延べ面積 庁舎棟：2327.82 m<sup>2</sup> 車庫棟：199.2 m<sup>2</sup>
- (5)階数 庁舎棟：地上2階 車庫棟：地上1階  
高さ：11.05 m  
※車庫棟は、設計中のため、今後変更の可能性がある。

### 3 駐車場概要

- (1)駐車台数 198台  
※外構工事の詳細設計は、平成31年度に行う。以下は概略。  
平面駐車場 来庁舎用93台、町営バス5台、公用車30台、職員用70台  
(うち屋根付ハートフル駐車場 2台)
- (2)駐輪台数 12台

## ■配置図、配置計画

- (1) 駐車場より、正面に玄関を配置し、わかりやすい誘導とする。
- (2) 閉庁後は、東側玄関を利用し、用途や利用時間に応じて、設定が容易なゾーニングによるセキュリティ対策とする。





**【1階】**

- (1) 正面玄関からわかりやすい位置に総合案内を配置し、町民を出迎えるような窓口配置とする。
- (2) 利用率の高い業務の受付窓口から配置し、窓口移動を軽減する。
- (3) 相談室、カウンター形状など、プライバシーに十分配慮しつつ、視認性が高く分かりやすい窓口配置とする。
- (4) 待合ロビーは、繁忙期にも対応できる広さを確保し、キッズコーナーや授乳室を配置し、すべての世代の利用に配慮する。
- (5) 災害時に対応する防災諸室を配置するとともに、特別職ゾーンを同一階とする

**【2階】**

- (1) 多目的室(議場兼用)、会議室1、2を配置し、フレキシブルな用途で利用する部屋とする。
- (2) 議会関連諸室を、2階南側に集約し、多目的室(議場兼用)利用がしやすい配置とする。
- (3) 教育委員会事務局は、公民館利用時の受付管理等に配慮し、2階に配置する。
- (4) 憩広場及び会議室は、窓より大山が展望できる配置とする。

## ■立面計画

- (1) シンプルなデザインとしながら、山なみを意識した屋根の形状と、大山の北壁の風合いをイメージしたコンクリート打放しの壁と、周辺に圧迫感を与えないような色調とする。
- (2) 外装材料は、機能性、メンテナンス性、耐久性に配慮して、長期的に経済効率の高い外装とする。
- (3) 外部建具は、断熱効果に優れた複層ガラスを導入し、又、サイドパスを利用し、換気効果を高める。
- (4) 北側正面は、大山を望む視界を確保するために、大きなガラス面とする。
- (5) 又、役場スペースの様子がポーチより見えるよう、ガラス面を主とした外装とする



北側立面図



南側立面図



東側立面図



西側立面図

■イメージパース





■イメージパース



## ■構造計画

- ・基本方針  
庁舎施設として求められる機能性、快適性、安全性を満足する空間を実現し、耐久性、施工性および経済性に配慮した構造計画とする。特に町政の中心となる本庁舎は、起こり得る災害時に司令塔として即時に機能しなければならないと考え、高い耐震性能を有する施設づくりを基本方針とする。
  
- ・耐震安全性の区分  
耐震安全性の分類 構造体：Ⅱ類
  
- ・階数  
2階建て
  
- ・構造種別  
鉄筋コンクリート構造
  
- ・架構形式  
耐震壁併用ラーメン架構
  
- ・基礎形式  
直接独立基礎
  
- ・ボイドスラブ(中空スラブ)  
執務室の時代変化に対応するため、大スパン空間を形成できるボイドスラブ(中空スラブ)を採用する。又、遮音性にも優れている。
  
- ・基礎  
地表面近くまで、比較的N値の大きな「礫混じり砂層」もしくは「玉石混じり砂層」が存在している為、直接基礎で十分な地耐力を確保できる。

## ■電気設備計画

### 電力設備計画

1 受変電設備	受電方式 配電盤形式 変圧器	三相3線6.6kV60Hz 屋外閉鎖型 油入自冷式
2 非常用発電機	型式 原動機 主燃料槽	屋外パッケージ型、三相3線6.6kV60Hz 90kVA×1 ディーゼルエンジン、ラジエータ冷却式 油庫式燃料タンク、950L×2基(72時間容量)、軽油
3 幹線設備	電気方式 配線方式	動力系統：三相3線200V、電灯系統：単相3線200V/100V ケーブルラック配線、電線管配線
4 動力設備	電気方式 配線方式	動力系統：三相3線200V ケーブルラック配線、ケーブルころがし、電線管配線
5 電灯コンセント設備	電気方式  配線方式 照明器具 設定照度 誘導灯 非常用照明	電灯回路：単相2線100V、非常照明回路：単相2線100V コンセント回路：単相2線100V・200V ケーブルころがし、電線管配線 露出LED、埋込LED、LEDダウンライト等 JIS(Z9110)に準拠 LEDバッテリー内蔵型 LEDバッテリー内蔵型

### 通信設備計画

1 構内情報通信網設備	システム	配管、モジュラジャック、電源等 配線・機器類・調整費等は別途工事
2 構内交換設備	システム	配管、モジュラジャック、電源等 配線・機器類・調整費等は別途工事
3 拡声設備	システム	非常放送設備（業務放送兼用）を設置
4 誘導支援設備	システム	玄関・東口玄関に時間外受付用テレビインターホン エレベータ連絡系統用インターホン 多機能トイレに呼出設備を設置
5 テレビ共同受信設備	システム 配線方法	CATV引込 分岐分配方式
6 監視カメラ設備	システム	配管等 配線・機器類・調整費等は別途工事
7 入退室管理設備	システム	配管等 配線・機器類・調整費等は別途工事
8 火災報知設備	受信機	P型受信機 宿直室に副受信機
9 音声誘導設備	システム 設置場所	小型送受信機対応型、昼夜切換式 1階玄関 時間外対応用に宿直室にチャイム取付
10 映像・音響設備	設置場所	[映像] 防災会議室、大会議室、中会議室、 町長室、フリースペース、多目的室（議場） [音響] 防災会議室、多目的室（議場）
11 議場設備	システム	無線式

## ■機械設備計画

### 冷暖房設備計画

1 熱源機器設備	1階執務系統 2階議長系統 その他系統	電気式空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン 電気式空冷ヒートポンプビル用マルチエアコン 電気式個別空冷ヒートポンプパッケージエアコン
2 換気設備	指定部分 その他	全熱交換器 排気ファン
3 排煙設備		自然排煙

### 給排水衛生設備計画

1 衛生器具設備	衛生陶器、水栓等節水型器具採用、災害時用便器採用	
2 給水設備	給水方式 水源	受水槽＋加圧給水方式 町水(水道水)
3 排水通気設備	排水方式	屋内汚水・雑排水合流方式
4 給湯設備	給湯方式 給水箇所	個別給湯方式 小型貯湯式電気温水器：WC洗面、ミニキッチン LPガス瞬間式湯沸器：US、UB、更衣室洗面
5 LPガス設備	供給方式 使用箇所	LPボンベを屋外に設置 US、UB、更衣室洗面

### 〈災害対応〉

1 上水(飲用水等)	町水断水時、受水槽にて3日分確保(災害時1L切替便器使用)
2 排水設備	災害時1L切替便器使用 仮設組立トイレ用屋外小口径桝設置
3 給湯設備	LPガスによる供給